

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成21年1月22日(2009.1.22)

【公表番号】特表2008-521942(P2008-521942A)

【公表日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【年通号数】公開・登録公報2008-025

【出願番号】特願2007-541636(P2007-541636)

【国際特許分類】

C 1 1 B 9/00 (2006.01)

【F I】

C 1 1 B 9/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月28日(2008.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材に適用され、第 1 の利益および少なくとも 1 つの第 2 の利益を提供することに適合した基材ケア製品であって、第 2 の利益がヒドロゲル殻および油性コアを有するカプセルにカプセル化された少なくとも 1 種のカプセル化揮発性物質により提供され、前記揮発性物質が水の存在下で空のカプセルに充填されたものである、前記基材ケア製品。

【請求項 2】

カプセルの殻がアラビアゴムおよびタンパク質から選択される材料から形成される、請求項 1 に記載の基材ケア製品。

【請求項 3】

提供される第 2 の利益が香料であり、香料成分の 20 % より多くが、300 ng / l 未満、好ましくは 20 ng / l 未満、そして最も好ましくは 10 ng / l 未満の知覚閾値を有する、請求項 1 に記載の基材ケア製品。

【請求項 4】

基材に第 1 の利益および少なくとも 1 つの第 2 の利益を提供する方法であって、少なくとも 1 つの第 2 の利益が揮発性物質により与えられ、ヒドロゲル殻および油性コアを有するカプセルにカプセル化された少なくとも 1 種の揮発性物質を含み、前記揮発性物質が水の存在下で空のカプセルへ充填された基材ケア製品で、基材を処理することを含む、前記方法。